

長期総合計画ってなに?



わたしたちが大人になっても、安心してずっと住みたいと思えるまちにするためには、どうすればいいのかな?

小平市では、小平市の将来をよくするために、めざすまちの姿や、みんなで一緒にまちづくりに取り組んでいく内容をまとめた「長期総合計画」をつくっています。今作っている第四次の長期総合計画は、令和3(2021)年度から令和14(2032)年度までの12年間の計画です。



この素案の概要には、計画のおおまかな内容をのせています。みなさんから意見をもらって、計画を完成させる予定です。

小平市ってどんなところ?

小平市の歴史

鈴木遺跡の発掘により、小平には3万数千年前の旧石器時代に人が暮らしていたことが明らかになっています。江戸時代(承応3(1654)年)に玉川上水が完成、明治22(1889)年に小平村となりました。明治27(1894)年に小平ではじめての駅(小川駅)ができました。昭和19(1944)年に村から町に、昭和37(1962)年に小平市となりました。

小平市の特性

小平市には、良いところがたくさんあります。例えば、市の名前にもあるとおり、平らかなこと。自然がたくさんあること。市内には7つの駅があること。大学や高校がたくさんあること。新しい5千円札の肖像にも選ばれた津田梅子さん、ブルーベリー、丸ポストなど。また、力を合わせて地域の活動をする伝統などもあります。このような小平市の良いところは、暮らしやすいまちづくりをしていくためにも大切にしたいことです。

小平市の人口は、これまで増え続けてきましたが、これからは減っていきます。また、子どもの数が減り、高齢の方が増えることが予想されています。みんなが過ごす小学校や中学校も古くなってきています。また、スーパー台風といわれるような自然災害も増えています。情報科学技術もどんどん進んでいきます。これからのまちづくりを考える上で、これらの変化は重要なこととなります。

基本構想

基本的な理念

「基本的な理念」は、小平市に関わるみんなが、いつも忘れずにいようね という考え方です。

「私たちは互いに認めあい、支えあい、助けあい、安全安心に住み続けられるまちづくりのために力を合わせます。私たちは「こだいら」の豊かな環境を守り、文化を育て、協働を積み重ね、持続可能な地域社会を次の世代に伝えます。

取組の方向性

小平市の将来像を実現するための目標と、そのために取り組んでいく内容です。少しむずかしいかもしれないけれど、これからの小平市にとって大切だと思う取組など、あなたの考えを教えてください。

基本目標Ⅰ(ひとづくり)

ひとが育ち、学び、新たなかちをそぞろするまち

- 方針1 全ての子どもの育ちと自立を支援する(子育て支援、学校教育、若者活躍)
- 方針2 全世代が元気にはつらつと過ごす(健康づくり、スポーツ、生涯の学び)
- 方針3 まちの誇りを受け継ぎ、発展させる(歴史、文化芸術)

基本目標Ⅱ(くらしづくり)

たようせいをみとめあい、つながり、きょうせいするまち

- 方針4 お互いに尊重し、活躍できる社会の実現(男女共同参画、障がい者支援、多文化共生)
- 方針5 地域の絆で支えあう(介護、保健福祉、生活支援)
- 方針6 誰もが役割と生きがいを持つ地域づくり(地域コミュニティ、安全・安心)

基本目標Ⅲ(まちづくり)

自然とちようわた、美しくかいてきて、みりよくあるまち

- 方針7 水や緑を保全・創出し、環境にやさしい循環共生型の社会を形成する(緑・環境・資源循環)
- 方針8 安全安心で快適な、住みやすいまちを形成する(市街地整備、道路、交通)
- 方針9 地域資源をいかし、活力と交流を生み出す(商工業、都市農業、観光)

めざす将来像

長期総合計画では、「基本的な理念」を大切にしながら、めざす小平市の姿を「将来像」として、わかりやすく表現しています。

つながり、共に創るまち こだいら

基本目標横断プロジェクト

自治体経営方針

※3つの基本目標を着実に進めるための考え方などを示します

- 地域資源によるサービスの実現
- 将来に向けた財政運営、財産活用
- 運営・業務執行体制の効率化
- 職員と職場の活性化

プロジェクト1

自助・共助・公助により、防災減災を強化します

プロジェクト2

新たな地域拠点とコミュニティの創出に取り組みます